

株式会社NTTデータ



グローバル統括会社間のネットワークをSD-WANで統合管理 セキュリティ強化と投資効率最大化の基盤を構築

製品 & サービス

- ・Cisco SD-WANソリューション
 - Cisco vEdge-100b-AC-K9
 - Cisco DNA Advantage Cloud License
- ・Cisco Smart Net Total Care (SNTC)

課題

- ・グローバルでビジネスが拡大する中、グループの共用ネットワークに多くの拠点と企業が接続するようになり、セキュリティとガバナンスの観点から、ネットワーク全体を一元的に管理できる仕組みを求めている
- ・従来はOA業務用途で使用していた共用ネットワークを、各グループ企業のニーズに応じて、ビジネスを加速させる多様な用途に利用できるものへと変革しようとしていた

ソリューション

- ・プロジェクトの要件を満たす機能性と、グローバルでのブランド力、サポート力からCisco SD-WANソリューションを採用
- ・設定は平易なものだけでなく、CLIを通じたより詳細なものにも対応しており、拠点ごとに異なる接続ニーズに対応しながらスムーズな導入を実現
- ・クラウドベースの管理コンソールで共用ネットワーク全体の状況をリアルタイムに可視化し、現地のエンジニアとも容易に共有が可能に

効果～今後

- ・各拠点のニーズに応じた環境で、共用ネットワークの安定運用が可能に
- ・グローバルでのネットワーク状況が可視化されることで、より投資効率が高いネットワークの実現に向けた検討や、SIEMによるセキュリティ強化などに貢献
- ・SD-WANの導入と運用についての実績を、顧客に向けた提案にも活用

株式会社NTTデータ（以下、NTTデータ）は、データ通信やシステム構築などを手がけるシステムインテグレーターです。同社では10年ほど前から、グローバルでのカバレッジ拡大とブランド確立を目指し、海外における拠点の拡充とビジネスの成長に注力しています。グローバルに広がり続けるネットワークのセキュリティとガバナンスの強化、投資効率の最大化を目的として、同社ではシスコのSD-WANソリューション（vEdgeルータ）を導入しました。

機能が要件を満たしていたのはもちろんですが、グローバル規模でSD-WANを導入するにあたっては『シスコの提供するグローバルでのサービス、サポート』を享受できることが、現地の統括会社のステークホルダーやエンジニアの理解を得るうえで大きな意味がありました。

— NTTデータ 技術革新統括本部 ITマネジメント室
システム開発担当 課長代理 杉山 英輔 氏

NTTデータは、NTT（日本電信電話）のデータ通信事業本部を母体として、1988年に設立されたシステムインテグレーターです。公共、社会インフラ分野や、金融を中心に、幅広い業界に顧客を持ち、設立以来30期連続での増収を果たしている、業界最大手のITサービス事業者でもあります。同社では、2005年ごろから、グローバルでのカバレッジの拡大とブランド確立を主要な事業テーマに掲げ、海外における拠点の拡充とビジネスの成長に注力してきました。2018年には、全体売上高に占める海外の比率が約50%に達しましたが、引き続き、「Global Top 5」としての実績と信頼を確立することを目標に前進を続けています。

課題

NTTデータ 技術革新統括本部ITマネジメント室は、同社グループのネットワークを含む多様なシステムの構築、運用管理を担当しています。グループ各社や各事業部門に対して、効果的で信頼性の高いITシステムを提供していくことは、同時に同社の顧客に対しても価値を提供することにつながります。グローバルでトップクラスの情報サービス企業として、カバレッジとブランドの確立を目指す中で、NTTデータでは有力企業のM&Aを含む形で、積極的に海外拠点の拡充を進めてきました。



株式会社 NTTデータ
技術革新統括本部 ITマネジメント室
システム開発担当 課長
猪腰 拓郎氏

これと同時に、ITマネジメント室では、グループ内の各企業を「NTTデータグローバルネットワーク」と呼ばれる共用ネットワークで接続し、グループ内コラボレーションの促進や、システムリソースの効率的な活用を図ってきました。ITマネジメント室 システム開発担当主任の富永将至氏は、今回のSD-WAN ソリューション検討の背景について、次のように語ります。

「グローバルの拠点を拡充していく中で、日本だけでなく、中国、APAC、北米、EMEA、中南米といった、多くのリージョンに属する拠点と企業が、NTTデータグローバルネットワークに接続されるようになりました。ここに至り、各拠点からインターネットへの接続口や、海外の統括会社と日本とをつなっているネットワークを、日本のヘッドクォーターから集中的に管理できるようにすることで、高度化しているセキュリティリスクへの対応強化と、ガバナンスの強化とを行う必要があると考えました」

NTTデータでは、グローバル経営にあたり、各リージョンに属する統括会社に対して、「本社で標準化したルールの下で、各社のビジネス環境に適した仕組みを各社で構築、運用することを基本方針」としています。それは、ネットワーク環境についても同様です。ITマネジメント室 システム開発担当 課長の猪腰拓郎氏は次のように話します。

「各リージョン、各企業がそれぞれに持っている良さを生かしながら、シナジーを生み出すことで、お客様のビジネスにより貢献できると考えています。そのためには、ネットワークについても、各地のニーズに応じた形で柔軟に提供できることが重要です。SD-WANの技術は、そうした要件に応えつつ、セキュリティとガバナンスを高めるために有効に使えるだろうと考えていました」

セキュリティ、ガバナンスの強化と合わせて、これまでは主に社内業務向けに利用されていたNTTデータグローバルネットワークを、開発向けや商業用にも利用してもらえる環境を整備していきたいというビジョンもあり、同社では2018年1月より、これらの課題に応えられるSD-WANソリューションの導入検討をスタートしました。



株式会社 NTTデータ
技術革新統括本部 ITマネジメント室
システム開発担当 課長代理
杉山 英輔氏

Cisco SD-WANソリューションは、NTTデータにおけるネットワークへの要求に十分対応できる機能を備えていました。詳細な設定も可能で、各拠点のニーズに応じた形での導入をスムーズに進めることができました。

—NTTデータ先端技術 基盤ソリューション事業本部 プラットフォーム事業部
テクノロジーサービス担当 課長代理 山中 涼輔氏



株式会社 NTTデータ
技術革新統括本部 ITマネジメント室
システム開発担当 主任
富永 将至氏

ソリューション

SD-WANソリューションの提案と構築の中心を担ったのは、NTTデータグループでIT基盤を中心とした技術コンサルティングを手がけるNTTデータ先端技術株式会社（以下、NTTデータ先端技術）です。NTTデータ先端技術では、SD-WANを活用したいという要望を受け、複数のソリューションについて実地検証をNTTデータとともに実施。その結果から、Cisco SD-WANソリューション（vEdgeルータ）の導入に至りました。NTTデータ先端技術 基盤ソリューション事業本部 プラットフォーム事業部 テクノロジーサービス担当 課長代理の山中涼輔氏は、ソリューション決定の経緯について、以下のように話します。

「Cisco SD-WANソリューションは、今回のNTTデータにおけるネットワーク環境刷新の要件に十分に対応できる機能を備えていました。また、導入にあたっては、各拠点の要求に合わせて、きめの細かい設定を行う必要がありましたが、今回、エッジルータとして導入したCisco vEdge-100bでは、CLI（コマンドラインインターフェース）からの詳細な設定作業が可能でした。

要件の少ない拠点は、より平易な設定で、データセンターを冗長化していたり、内部との接続にBGP（Border Gateway Protocol）を使いたいというような希望があったりする拠点の場合には、より詳細な設定を必要に応じて行うといった対応を行い、全拠点での導入をスムーズに進めることができました」

また、シスコのグローバルでの「ブランド力」「サポート力」も導入決定の大きな要因になったと言います。NTTデータ 技術革新統括本部 ITマネジメント室 システム開発担当 課長代理の杉山英輔氏は次のように話します。



NTTデータ先端技術 株式会社
基盤ソリューション事業本部
プラットフォーム事業部 テクノロジーサービス担当
課長代理
山中 涼輔氏



NTTデータ先端技術 株式会社
基盤ソリューション事業本部
プラットフォーム事業部 営業担当
主任セールス

海老沼 知美氏

「海外のグループ会社にSD-WANを導入するにあたっては、新しく導入する技術がネットワークでの実績が豊富な『シスコのソリューションである』ということが、現地の統括会社やエンジニアに安心してもらい、理解を得るうえで非常に大きな意味がありました。また、シスコのテクニカルサポートサービスである『Cisco Smart Net Total Care』を、日本だけではなく、海外の拠点に対して共通で適用できたというのも、決定に至った理由のひとつです」。

NTTデータでは、2018年8月より、日本とマレーシアの拠点を皮切りとしてvEdgeルータの導入を開始しました。そこでの動作確認の後、わずか半年間で、すべての統括会社の主要なデータセンターを含む14拠点に導入を完了。NTTデータグローバルネットワークのSD-WAN化を完了しました。

ネットワーク全体にどのようなトラフィックが流れているのかを、一元的かつ詳細に把握できるようになった点は大きいですね。セキュリティ管理だけでなく、ネットワークへの投資効率を最大化するために活用できます。

—NTTデータ 技術革新統括本部 ITマネジメント室
システム開発担当 課長 猪腰 拓郎 氏

効果～今後

Cisco SD-WANソリューションの導入により、NTTデータでは、世界各地の拠点とNTTデータグローバルネットワークとのWAN接続を、日本の本社から柔軟にコントロールするための手段を手に入れました。同社では、SD-WANの運用開始に合わせて、障害やセキュリティ上の問題が発生した場合の連絡ルートや対応プロセスについても見直し、既に適用を行ったといいます。運用開始から現在に至るまで、ネットワークは安定した運用が行えており、セキュリティ強化とガバナンスの向上という当初の目的を実現していくにあたって、有用な基盤が構築できたと評価しています。

「ネットワークのコントロールが従来よりも容易になったことももちろんですが、SD-WANの導入により、ネットワーク全体にどのようなトラフィックが流れているのかを、一元的かつ詳細に見ることができるようになった点は大きいと思います。今後、グローバルでのビジネス拡大に合わせて、ネットワークを流れるトラフィックも増え続けていくことが予想されます。そうした中で、どのトラフィックを優先し、ネットワークのどの部分に投資を行えば、グループの事業により効率的に貢献できるかを、定量的に吟味できるデータが入手できるようになりました」(猪腰氏)



導入企業

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
(NTTデータ)

NTT DATA
Trusted Global Innovator

本社所在地 東京都江東区豊洲 3-3-3
設立 1988(昭和 63)年 5月 23日
資本金 1,425 億 2,000 万円
業種 IT・通信事業
従業員数 12万3,884 人
(連結、2019年3月31日現在)
連結売上 2兆 1,636 億円(2018年度)
URL <https://www.nttdata.com/jp/ja/>

NTTデータは、NTT(日本電信電話)のデータ通信事業本部を母体として、1988年に設立されたシステムインテグレーターです。公共、社会インフラ分野や、金融分野を中心に、幅広い業界に顧客を持ち、設立以来30期連続での増収を果たしている、業界最大のITサービス事業者でもあります。「将来にわたるビジネス革新を、技術の活用により、ともに実現するパートナーになる」という思いを込めたグループビジョン「Trusted Global Innovator」を掲げ、「Global Top 5」の実績と信頼を確立することを目指して、日本のみならず海外でのビジネス展開も強化しています。



NTTデータでは、各拠点に導入したvEdgeルータの集中管理コンソールとして、クラウド上で提供されている「Cisco vManage」を活用しています。同社ではセキュリティ強化に向けた取り組みの一つとして、ネットワーク機器やサーバなどの膨大なログデータからデータアナリティクスのアプローチで脅威を検出する「SIEM (Security Information and Event Management)」の活用にも取り組んでおり、ログをクラウドで一括管理できる「Cisco vManage」は、その取り組みを加速させる上でも有効に活用できるだろうと期待しています。NTTデータでは、SD-WANによって可能になった、より安心でガバナンスの利いたNTTデータグローバルネットワークを、社内業務のみならず、開発向けや商用向けなど、グループ企業のニーズに応じたサービスを柔軟に提供できる基盤へと発展させていきたい意向です。

また、NTTデータにおける、最新技術の導入と活用は、グループの各事業会社や事業部門が自らの顧客に対して新たなソリューションを提案する際の「ショーケース」としての意味合いも持つといます。NTTデータ先端技術 基盤ソリューション事業本部 プラットフォーム事業部 営業担当 主任セールスの海老沼知美氏は、今回のグローバル拠点を結ぶSD-WAN構築の意義について次のように話しました。

「ネットワークに対する企業のニーズが多様化している現在、求められる要件を備えたネットワークを柔軟かつ迅速に構築できるSD-WANに対する期待は高まっています。実際に、NTTデータ先端技術の社内でも、今回のCisco SD-WANソリューションを用いたNTTデータグローバルネットワークの仮想化事例は、NTTデータ先端技術の社長賞を受賞するなど、注目度が高いものになっています。私たちとしては、今回の事例を元に、ソリューションの外販を行っている事業部などとも協力しながら、技術者の育成なども行いつつ、お客様のSD-WANに対するニーズに応えられる体制を整えていきたいと考えています」。

©2019 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は 2019 年 10 月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒 107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー
<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先